

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイSES藤枝あおじま校				公表日	令和7年 11月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		充分なスペースが確保されている。			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	余裕をもって配置出来ている。	個別サポート児童や肢体不自由児童が多いと手が回らないこともある。不測の事態に備えて日々研鑽を積んでいきたい。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		刺激を軽減できるようにしている。玄関は車いすでも入れます。トイレには手すりが設けられている。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日掃除をしており清潔に保たれている。消毒も欠かさず行っている。			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	相談室やついたて、学習机が設置されている。	完全に個室になっている部屋はない。カームルームの設置を今後検討していきたい。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	事業所内研修で周知している。毎日の朝礼で振り返りを行っている。	職員の入れ替わり時に研修を行えていない。パートさんへの研修にも力を入れていきたい。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価を行っており、その都度改善に努めている。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		日々の支援の中で職員の意見を取り入れて支援している。朝礼時に意見を出し合っている。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	行っていない。	必要なら今後検討していきたい。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		事業所内、会社全体で研修を実施している。時間のない中、行っている。出来れば事業所内研修のための時間を確保してほしい。			
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		計画書の公表されているが、作成が遅れがちになることがある。			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		モニタリングを行い、個別支援計画書に落とし込んでいる。			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		連絡ノートを活用し共通理解をとっている。また皆で意見を出し合って作成している。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員間で共有し計画に沿って支援している。			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		医師からの情報、保護者からの情報、行動観察記録を取っておいる。			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	モニタリングを行い、課題を設定する。5領域も踏まえた支援内容を提示している。	「地域支援・地域連携」については不十分である。今後検討していきたい。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		チームで行っている。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		固定しないよう工夫しているが時にはパートナーによる支援も必要と思う。			

供 給	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別活動、集団活動を踏まえた計画を立てている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼時に当番の職員が中心となり1日の予定を立てている。チームで共有して支援を行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	基本的に朝礼時に行っているが必要な情報はその日の内に振り返っている。	延長支援を行っており、その日の終礼は難しい。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		行動観察記録を取っており、朝礼時に改善点などを話し合う。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	モニタリングを半年に一回行っている。	ギリギリになってしまふ事もある。余裕を持って取り組んでいきます。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8		行っている。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		意思決定支援をベースに支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		管理者が出席している。また職員にフィードバック出来ている。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3	SESとして体制が取れている。また保護者を介して連携することもある。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	保護者を介して共有している。	学校と直接的なやりとりが出来ていない。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	4	フェイスシートやアセスメントシートでの情報が主。今後検討していきたい。	就学前の機関との連携は出来ていない。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		8	現状出来ていない。	今後検討していきたい。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		8		今後検討していきたい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	7	他校との交流はあるが、児童館などの交流はない。	今後検討していきたい。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		管理者が出席している。また職員にフィードバック出来ている。職員は参加していない。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		LINEを通して連絡を取り合っている。また、引き渡し時に詳細を伝えている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6	ペアレントトレーニングまではいかないが相談事は児発管を通して連絡を取っている。	参加型の研修は現状行えていない。今後の課題です。
機 構 の 運 営	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		サービス等利用計画も含めて計画を立てている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		適切に行っている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		引き渡し時やLINEを通して行っている。また年に1回希望面談を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		8	現在父母会は行っていない。	現在父母会の機会を設けていない。保護者のアンケートをもとに必要とあらば今後検討をしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		8	苦情の窓口を設けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		8	公式LINEや配布物などで情報発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		8	鍵付きの書庫にて取り扱っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		8	マカトンサインや絵カードなど視覚支援を行っている。また保護者とはLINEで情報伝達している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8	現状出来ていない。	あおじま校としての活動は行えていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		8	実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		8	BCPが作成されている。訓練なども実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		8	保護者からの情報をもとに確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		7	1	保護者からの情報のみ。 今後検討をしていきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		7	1	実施している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		7	1	公式LINEや配布物などで情報発信している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		8		検討している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		8		定期的に研修を行っている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		7	1	保護者への説明を行っている。